

表 1 牛白血病が発生した酪農場における牛白血病ウイルス陽性率と陽転率、ウイルス伝播リスク要因

	A農場	B農場	C農場	D農場
飼養総頭数	140 頭	280 頭	290 頭	90 頭
牛舎形態	フリーストール 1 群	フリーストール 2 群	フリーストール 2 群	タイストール
ウイルス陽性率 ¹⁾	57.4%	33.3%	62.2%	11.3%
ウイルス陽転率 ²⁾	24.3%	11.5%	31.2%	0%
ウイルス伝播リスク要因 ³⁾				
ウイルス陽性牛の分離飼育	なし	なし	なし	あり
ハイリスク牛割合 ⁴⁾	<u>39.5%</u>	4.3%	<u>31.0%</u>	2.1%
放牧	なし	<u>預託牧場</u> 自家放牧	初妊牛のみ 自家放牧	育成と乾乳前期を 自家放牧
吸血昆虫の有無	<u>サンバエ</u>	アブ・サンバエ	<u>アブ・サンバエ</u>	サンバエ
初乳給与	母乳を加温処理	母乳を加温処理 初乳製剤	凍結初乳 初乳製剤	<u>母乳を生で給与</u> 凍結初乳

1) 初回検査時における 20 ヶ月齢以上の牛のウイルス陽性率 2) 初回検査時から 1 年間にウイルス陰性牛が新たにウイルス陽性となった割合 3) 各農場においてウイルス伝播リスクが高いと考えられた要因をアンダーラインで示した。4) 初回検査時のウイルス陰性牛に対する血中ウイルス量が高い牛の割合

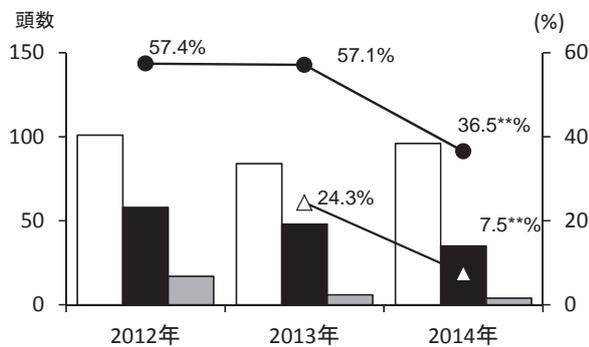


図 1 ハイリスク牛の優先的淘汰によるウイルス伝播防止効果

A 農場 □検査頭数 ■ウイルス陽性頭数 □ハイリスク牛頭数
●ウイルス陽性率 △ウイルス陽転率 (2013年に対する有意差 **P<0.01)

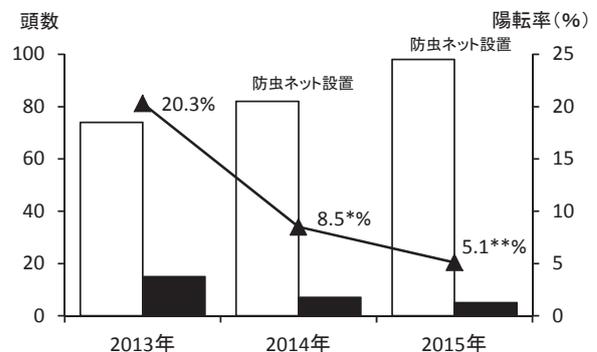


図 2 防虫ネットの設置によるウイルス伝播防止効果

C 農場 □検査頭数 ■ウイルス陽性頭数 ▲夏季のウイルス陽転率 (2013年に対する有意差 *P<0.05, **P<0.01)

●農場内の感染状況を知る

- ・全頭の血液検査
- ウイルス陽性牛の把握
- ★ハイリスク牛の摘発
- 血中ウイルス量が高い牛

☆新しい陽性牛を増やさない

- 垂直伝播の防止
- ・初乳の加温処理
- ・陽性牛から後継牛をとらない

☆陽性牛を減らす

- ・ハイリスク牛の優先的淘汰
- ・ウイルス陽性牛の計画的淘汰

- 水平伝播の防止
- ・陽性牛の分離飼育
- ・注射針・直腸検査手袋を 1 頭ずつ交換
- ・除角・削蹄器具の消毒
- ・吸血昆虫対策
- 防虫ネットの設置・忌避剤・薬剤散布

◎農場内の陽転率を下げる！

図 3 酪農場における牛白血病ウイルス伝播防止対策

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。

道総研畜産試験場 基盤研究部 家畜衛生グループ 小原 潤子

電話 (0156) 64-0615 FAX (0156) 64-6151

E-mail : kohara-junko@hro.or.jp